

## 平成17年度を迎えて

医師 藤田 保

この冬の寒さが長引いたせいか、桜の季節が短かったように感じましたが、早や爽やかな若葉の時候となりました。

新年度となって、当外来の取り組みも13年目に入っていますが、平成16年度の一年間では延べ708名、実数では66名の聴覚障害をもつ患者さんが受診されました。新患（初診）は21名でしたが、これらは例年に比べていずれもやや多いものでした。

最近受診される方の中で、高校、大学あるいは大学院で学びながら、情報保障や進路などの悩みを訴える方が目に付きます。いわゆる福祉相談の側面が強く、教育や福祉機関との一層の連携の必要性を感じます。

ところで、昨今の医療や福祉における制度、施策の見直しや改変には大変憂慮されるものがあります。とくに、今国会に提出された「介護保険法改正案」や「障害者自立支援法案」では、給付制限や利用者的大幅な負担増が鮮明に打ち出されており、当該サービスの利用者や家族ばかりでなく、医療・福祉等の関係者からも反対や批判の声が挙がっています。

背景に少子高齢化社会と医療や福祉の財源不足の進展などの問題があることに一定の理解はできるものの、公費負担医療制度の利用料徴収などによる負担増で、心身の安定に必要な受療が抑制されないかと危惧されます。

障害者自立支援法では自助自立と受益者負担原則の徹底が図られるようですが、他者と同じスタートラインに立つための障害に対する支援を得ることを「受益」とみることに違和感が強く、説得力のある解説は困難なようです。



### 最近のトピックス

2005年3月、社会福祉法人 聴力障害者情報文化センターより「聴覚障害者の精神保健サポートハンドブック」が発行されました。聴覚障害があるというだけで治療とサポートが不十分である現状を改善することを目的として、聴覚障害の医療・福祉に関係する人々、精神保健医療にかかわる人々、精神面でのサポートを必要とする聴覚障害の当事者、当事者の家族、ろうあ者相談員及び手話通訳士（者）等、聴覚障害の福祉、教育、医療などに従事する職員向けに作られたものです。

当院の医師 藤田、精神保健福祉士 西川、心理士 古賀も執筆を担当しています。

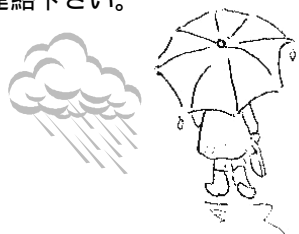
平成17年2月10日、平成16年度第4回事例検討会を全国手話研修センターにて開きました。講師はなかまの里（大阪）佐藤修所長にお願いしました。

大変遅くなりましたが報告します。  
今回も近畿で大阪守口市での開催でした。今年は、埼玉で11月5・6日。来年は東京での開催予定です。  
集會参加者は、26都道府県から607名。大阪からは285名でした。  
「地域での暮らしと権利を支える社会的資源づくり」というテーマで、グループホーム、高齢聴覚障害者のホームヘルプ、ミニデイサービスへの取り組みや手話サークルの実践が報告され、パネルディスカッションが行なわれました。更に私たちが一番関心を寄せる福祉制度の改革についての情報提供がありました。新たに支援費制度が始まったばかりですが、今、介護保険制度の見直しや障害者福祉制度が大きく変わろうとしています。

身体・知的・精神の施設・サービスの相互利用＝市町村中心、地域福祉の実現＝「障害保険福祉の総合化」  
障害者の就労を含め、その人らしい暮らしの実現＝保護から自立支援へ、社会への貢献＝「自立支援型システムへの転換」  
障害者を支える制度が、国民の信頼を得て安定的に運営できるようにより公平で効率的な制度へ＝「制度の持続可能性の確保」

分科会でも更にこの制度について学びました。手話通訳有料や手話通訳事業すら継続が危惧される現状になっているそうです。障害者にも応益負担を求めこの改革は福祉の圧縮だと思えます。

尚、説明の不十分さを補うため、必要な方には関係資料を提示します。ご連絡下さい。  
一緒に考えましょう。



【編集後記】

藤田医師の言葉にもありますが、聴覚障害をもつ新患（初診）の方の受診が増えています。初めて行く病院は誰でも不安です。スタッフ一同が、患者さんにあたたかい心で、伝えるべき情報のもれがないように心がけて行きましょう！！ は

今まで手話には無縁だった私ですが、琵琶湖病院に就職して初めて手話を使うことになりました。

最初の配属先の病棟には、聴覚障害のある患者さんがおられ、どうコミュニケーションを取ったら良いのか分からず、なかなか自分から話しかけることができずにいました。

それから、指文字や単語等を学んでいくうちに少しずつコミュニケーションを取ることができるようになりました。

また、患者さんとコミュニケーションを取る中で患者さんからも手話を教えていただき、学ぶことができました。

現在でも、病棟や委員会などで手話に関わる機会は多くありますが、まだうまく使いこなせていません。

患者さんの気持ちを理解するためにも日々のコミュニケーションを大切に、これからも多くの手話を学んでいきたいと思います。

～わんぼいんと手話～



【値段が高い】指でお金を作って上にあげる

【値段が安い】指でお金を作って下げる